

重要

本機器をご利用になる前に、必ず、裏面の「自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について」をお読みください。

バージョンアップ中は、POWERランプが緑点灯しますが、絶対に本機器の電源を切らないでください。

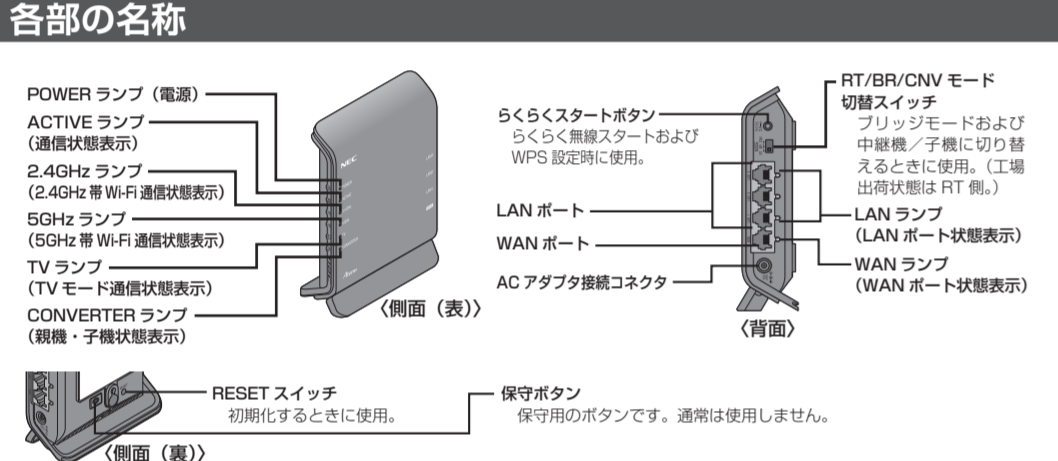
バージョンアップ中は、本機器に接続している端末との接続は切断され、数分間インターネット通信などができなくなります。

このたびはAterm GX1200HS4をご利用いただき、まことにありがとうございます。Aterm GX1200HS4（以下、本機器と呼びます。）は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠した、IPv6対応のWi-Fi（無線LAN）ホームルータです。

箱の中身を確認する

不足しているものがありましたら、本機器の入手元にご連絡ください。

- GX1200HS4 □ スタンド
- ＜添付品＞
□ ACアダプタ □ LANケーブル（カテゴリ5eストレート）
□ つなぎかたガイド（本書）
□ らくらくQRスタート用QRコード（シール）
装置ごとに異なりますので、大切にお取り扱いください。



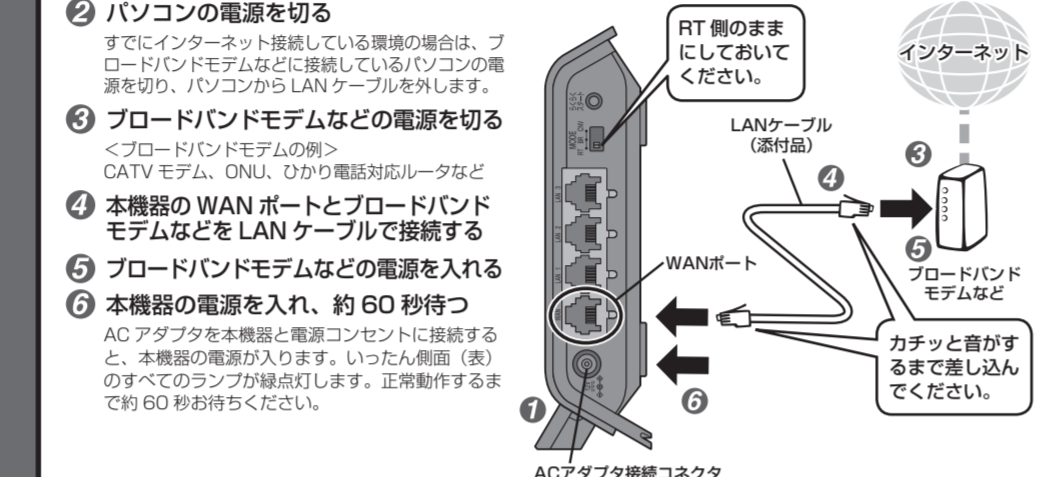
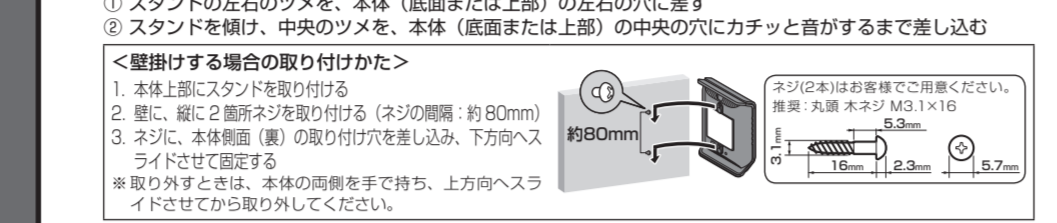
設置・接続をはじめる前に

- 事前に準備してください**
- 接続事業者/プロバイダから提供された、インターネット接続設定用ID（ユーザ名・ユーザID・認証IDなど）とパスワードが記載された書類を、お手元に準備してください。
※接続事業者/プロバイダなどのサービスによっては、不要の場合もあります。
 - 本機器をより安全にお使いいただくため、本機器の暗号化キーと管理者パスワードを決めて、控えておいてください。（STEP4で設定します。）
- 【暗号化キー】**
暗号化キーとは、Wi-Fi接続するためのパスワードです。セキュリティキー・パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。工場出荷状態では本機器のラベルに記載された値となりますが、本機器をより安全にお使いいただくため、STEP4にて、2.4GHz帯、5GHz帯それぞれに任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「暗号化キー控え欄」に控えておきましょう。
※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた13桁以上の文字列をお勧めします。
※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測しやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。
※使用できる文字は、8～63桁の半角英数字記号(0～9、a～z、A～Z、記号【ユーザーズマニュアル】)、または半角64桁の16進数(0～9、a～f、A～F)です。
※Wi-Fi設定引越し機能で、既存の親機のWi-Fi設定内容を引き継いだ場合は、STEP4での暗号化キーの変更は不要です。
- 暗号化キー控え欄**
- 2.4GHz帯：
5GHz帯：
- 【管理者パスワード】**
管理者パスワードとは、本機器の設定画面を開く際のパスワードです。工場出荷状態では本機器のラベルに記載された英数字8桁のパスワード（Web PW）となりますが、本機器をより安全にお使いいただくため、STEP4にて任意の文字列を設定します。あらかじめ決めて、下記の「管理者パスワード控え欄」に控えておきましょう。
※英大文字小文字、数字、記号を組み合わせた10桁以上の文字列をお勧めします。
※名前や生年月日、同一数字など、他人に推測しやすい文字列の使用は避けてください。また、複数の機器やサービス間での使い回しはしないでください。
※使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、_（アンダースコア）、最大半角64桁まで有効です。
- 管理者パスワード控え欄**

- 既存の親機と入れ替える場合は**
- 既存の親機がWPSに対応している場合
Wi-Fi設定引越し機能で、それまで使用していたWi-Fi設定内容【ネットワーク名（SSID）および暗号化キー】を本機器に引き継ぐことができます。（子機のWi-Fi接続設定は変更せずに使用できます。）Wi-Fi設定引越し機能の設定方法や詳細については、【ユーザーズマニュアル】を参照してください。
Wi-Fi設定引越しが完了したら、STEP1→STEP3→STEP4の順に進みます。
※既存の親機の仕様によっては、引き継ぎがうまく動作しない場合があります。【ユーザーズマニュアル】
 - 既存の親機がWPSに対応していない場合
既存の親機を取り外したあと、STEP1→STEP2→STEP3→STEP4の順に進みます。
- ブリッジモードで使用する場合は**
裏面の「ブリッジモードで使用する場合は」を参照してください。
- 中継機/子機として使用する場合は**
裏面の「中継機/子機として使用する場合は」を参照してください。

STEP 1 本機器を設置して電源を入れよう

- ★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。
※前後左右5cm、上5cm以内に他の機器や壁などがない場所に設置してください。壁掛けの場合は、壁掛け面を除きます。
- ① スタンドを取り付ける
- 縦置きの場合
本体底面に差し込みます。
- 横置き/壁掛けの場合
本体上部に差し込みます。
- ② スタンドを横け、中央のツメを、本体（底面または上部）の中央の穴にカチッと音がするまで差し込む
- ③ スタンドの左右のツメを、本体（底面または上部）の左右の穴に差す
- ④ スタンドを横け、中央のツメを、本体（底面または上部）の中央の穴にカチッと音がするまで差し込む
- ⑤ スタンドの取り外しかた
そのままスタンドを引き抜いてください。



- 警告**
- ACアダプタは、必ず本機器に添付のモードをお使いください。また、本機器に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
 - ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。火災、感電、故障の原因となります。

- ACTIVEランプが速い緑点滅をしている場合は
→ 動作モードの自動判定中です。しばらくお待ちください。
- 5GHzランプ、TVランプが速い緑点滅をしている場合は
→ 電波干渉を避けるためにチャンネルをサーチしています。さらに約60秒お待ちください。

- 本機器のPOWERランプが緑点灯、ACTIVEランプが消灯または緑点灯、2.4GHz、5GHz、WANランプが緑点灯または緑点滅になることを確認する



続いて、工場出荷状態の本機器に、ご利用の子機からWi-Fi接続します。**STEP2へ**お進みます。
※ Wi-Fi設定引越し機能で、既存の親機のWi-Fi設定内容を引き継いだ場合は、STEP3→STEP4の順に進みます。
※ 本機器に有線接続する場合は、本機器と端末（パソコンなど）の電源を切った状態で本機器のLANポートに端末を接続したあと、両方の電源を入れて約60秒待ち、STEP3→STEP4の順に進みます。

STEP 4 セキュリティを強化しよう

- ★本書では、無線LANアクセスポイントを親機、無線LAN端末を子機と呼びます。
- 本機器をより安全にお使いいただくために、暗号化キーと管理者パスワードは、初期値（工場出荷状態の値）から変更して、暗号化し、複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。
- ※ Wi-Fi設定引越し機能で、既存の親機のWi-Fi設定内容を引き継いだ場合は、下記の手順④、⑤のみ実施してください。

- ① クイック設定Webを起動する（※裏面「クイック設定Webの起動方法」）
- ② 暗号化キーを変更する
2.4GHz帯、5GHz帯それぞれに任意の文字列を設定します。
【Wi-Fi（無線LAN）設定】→【Wi-Fi詳細設定（2.4GHz）】画面で、「対象ネットワークを選択」にてプライマリSSIDを選択し、「暗号化キー」を開いて「暗号化キー」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた2.4GHz帯の暗号化キー（任意の文字列）を入力して、「設定」→「後で再起動する」をクリックしてください。
- ③ 管理者パスワードを変更する
ホーム画面に戻り、同様に5GHz帯の暗号化キーも入力してください。
- ④ 管理者パスワードを変更する
ホーム画面に戻り、「詳細な項目を表示」→「メンテナンス」→「管理者パスワードの変更」画面で、「新しいパスワード」欄に手順②でログインした初期値の管理者パスワード（Web PW）を入力し、「新しいパスワード」欄に「新しいパスワード再入力」欄に左記「設置・接続をはじめる前に」で控えておいた管理者パスワード（任意の文字列）を入力して、「設定」→「OK」をクリックしてください。本機器の再起動が完了したら「OK」をクリックしてください。
- ⑤ STEP2でWi-Fi接続した子機を手動でWi-Fi接続し直す
暗号化キーを変更することで、子機からのWi-Fi接続は切断されます。右記「暗号化キーを変更した本機器にWi-Fi接続する」を参照して、Wi-Fi接続を直してください。
※ 暗号化キーは、変更した値を入力してください。

以上で、設定は完了です。さらに詳細な機能をご使用になりたい場合は、製品サポートページ（https://www.aterm.jp/sl-support/gx1200hs4/）に掲載されている【ユーザーズマニュアル】を参照してください。

STEP 2 工場出荷状態の本機器にWi-Fi接続しよう

- ★本書では、無線LAN端末を子機と呼びます。
- 工場出荷状態の本機器に、ご利用の子機からWi-Fi接続します。本機器のネットワーク名（SSID）および暗号化キーをご利用の子機に設定してください。詳細なWi-Fi接続方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
- ※ チャンネルがW58に対応していない子機をご利用の場合は、本機器の「オートチャンネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「使用チャンネル」を【W52】または【W53】に設定してください。設定は、クイック設定Web（※裏面「クイック設定Webの起動方法」）の【Wi-Fi（無線LAN）設定】→【Wi-Fi詳細設定（5GHz）】画面で行ってください。
- ② 2台目以降の子機は、下記「暗号化キーを変更した本機器にWi-Fi接続する」を参照してください。
- 以下はWi-Fi接続方法の主な例です。

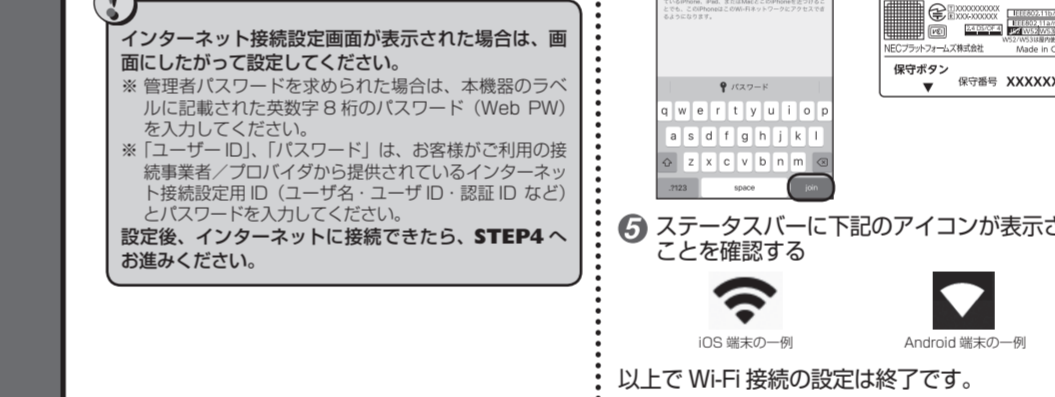
スマートフォン/タブレット端末の場合

- らくらくQRスタートでWi-Fi接続する
- Aterm らくらくQRスタートは、インターネット接続機能（LTE通信や3G通信など）、カメラ機能に対応している端末で、無料でご利用いただけるアプリです。ただし、パケット通信料はお客様ご負担となります。利用可能な端末の最新情報は、下記のWebサイトでご確認ください。（2020年4月現在）
- https://qr.aterm.jp/

- ① [Aterm らくらくQRスタート]のアプリを検索して、インストールする
- ② ホーム画面などから[Aterm らくらくQRスタート]のアイコンをタップする
※ 起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。
- ③ カメラビューで、添付の「らくらくQRスタート用QRコード」を読み取る
※ カメラビュー内の読み取り範囲内にQRコードを表示させてください。自動的にQRコードを読み取ります。



- ④ 「[パスワード]に、本機器の暗号化キーを入力し、「Join」(または「接続」)をタップする
※ 暗号化キーとは、Wi-Fi接続するためのパスワードです。セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。
- ⑤ ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する



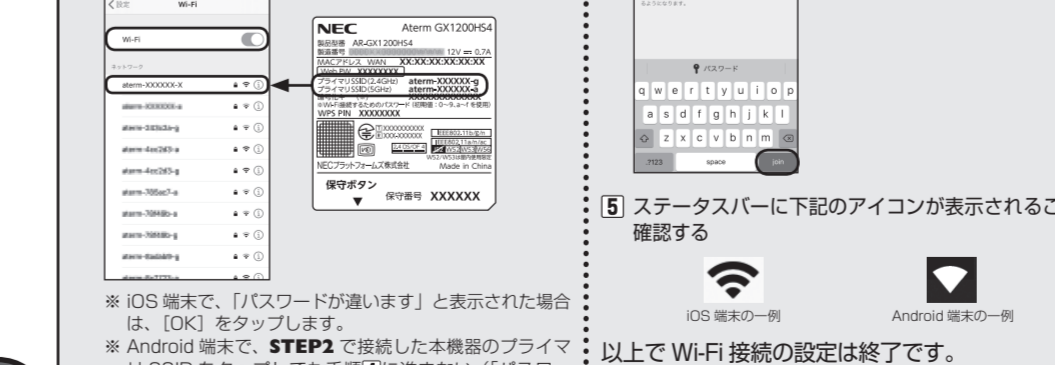
インターネット接続設定画面が表示された場合は、画面にしたがって設定してください。
※ 管理者パスワードを求められた場合は、本機器のラベルに記載された英数字8桁のパスワード（Web PW）を入力してください。
※ 「ユーザーID」、「パスワード」は、お客様がご利用の接続事業者/プロバイダから提供されているインターネット接続設定用ID（ユーザ名・ユーザID・認証IDなど）とパスワードを入力してください。
設定後、インターネットに接続できたら、STEP4へお進みください。

暗号化キーを変更した本機器にWi-Fi接続する

- 暗号化キーを変更した本機器に、ご利用の子機から手動でWi-Fi接続します。本機器のネットワーク名（SSID）およびSTEP4で変更した暗号化キーをご利用の子機に設定してください。（接続する子機は、15台以下をお勧めします。）詳細なWi-Fi接続方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
- ※ チャンネルがW58に対応していない子機をご利用の場合は、本機器の「オートチャンネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「使用チャンネル」を【W52】または【W53】に設定してください。設定は、クイック設定Web（※裏面「クイック設定Webの起動方法」）の【Wi-Fi（無線LAN）設定】→【Wi-Fi詳細設定（5GHz）】画面で行ってください。
- 以下はWi-Fi接続方法の主な例です。

スマートフォン/タブレット端末の場合

- ※ 以下はIOS端末を主な例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。
- ① ホーム画面などから「設定」をタップする
 - ② [Wi-Fi]をタップする
 - ③ [Wi-Fi]をオンにして、本機器のプライマリSSIDと同じ名前をタップする
※ 本機器のプライマリSSIDは、本機器のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。
 - ④ 「[パスワード]に、STEP4で変更した本機器の暗号化キーを入力し、「Join」(または「接続」)をタップする
※ 本機器のプライマリSSIDは、本機器のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。
 - ⑤ ステータスバーに下記のアイコンが表示されることを確認する



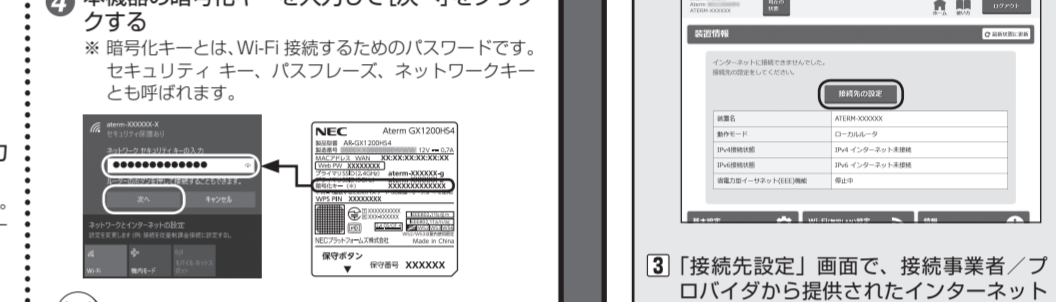
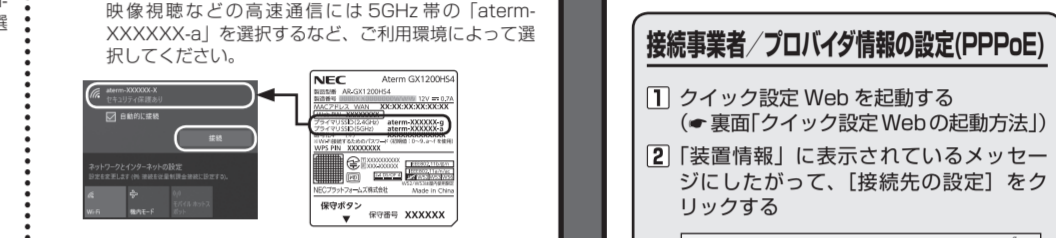
※ IOS端末で、「[パスワードが違います]と表示された場合は、「OK」をタップします。
※ Android端末で、STEP2で接続した本機器のプライマリSSIDをタップしても手順④に進まない（[パスワード]の入力画面が表示されない）場合は、同じプライマリSSIDをタップし、「変更」または「ネットワークを変更」を選択して、手順④に進みます。

STEP 3 インターネットに接続しよう

- ★本書では、無線LAN端末を子機と呼びます。
- ① Webブラウザ（Microsoft Edge、Internet Explorerなど）を起動する
 - ② インターネットのホームページ（任意のラベルに記載されています。
例）製品サポートページの場合
(2020年4月現在)
https://www.aterm.jp/sl-support/gx1200hs4/
- アクセスできれば、インターネットの接続は完了です。

無線LAN内蔵パソコンの場合（Windows 10/8.1の場合）

- ※ Windows 8.1の場合は、[スタート]画面で「デスクトップ」を選択してからはじめてください。
- ① パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
 - ② 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンをクリックする
Windows 10の例
 - ③ ネットワークの一覧の中から、本機器のプライマリSSIDをクリックし、「接続」をクリックする
※ 本機器のプライマリSSIDは、本機器のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。映像視聴などの高速通信には5GHz帯の「[aterm-XXXXXX-a]」を選択するなど、ご利用環境によって選択してください。
 - ④ 本機器の暗号化キーを入力して「[次へ]」をクリックする
※ 暗号化キーとは、Wi-Fi接続するためのパスワードです。セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキーとも呼ばれます。



- ④ 「[設定]」をクリックする
- ⑤ 「[OK]」をクリックする
- ⑥ 「[今すぐ再起動する]」をクリックする
本機器が再起動します。

続いて、STEP4へお進みください。

WPSに対応した無線LAN内蔵パソコンの場合
WPSで設定できます。手順④の画面でボタン押下の案内が表示されたら、本機器のらくらくスタートボタンを長押し（約6秒）し、POWERランプが緑点滅したら放します。しばらくしてWi-Fi接続が完了すると、POWERランプが約10秒間緑点灯します。

④ 「[設定]」をクリックする

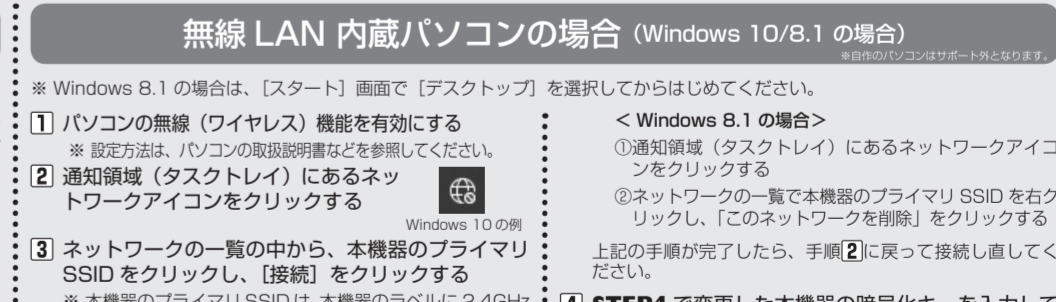
⑤ 「[OK]」をクリックする

⑥ 「[今すぐ再起動する]」をクリックする
本機器が再起動します。

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

無線LAN内蔵パソコンの場合（Windows 10/8.1の場合）

- ※ Windows 8.1の場合は、[スタート]画面で「デスクトップ」を選択してからはじめてください。
- ① パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
※ 設定方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
 - ② 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンをクリックする
Windows 10の例
 - ③ ネットワークの一覧の中から、本機器のプライマリSSIDをクリックし、「接続」をクリックする
※ 本機器のプライマリSSIDは、本機器のラベルに2.4GHz帯、5GHz帯ごとに記載されています。
 - ④ STEP4で変更した本機器の暗号化キーを入力して「[次へ]」をクリックする



※ 接続に失敗した場合は、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

＜Windows 10の場合＞

- ① 通知領域（タスクトレイ）にあるネットワークアイコンをクリックする
- ② 「ネットワークとインターネットの設定」→【Wi-Fi】→「既知のネットワークの管理」をクリックする
- ③ 接続するネットワーク名（SSID）をクリックし、「削除」をクリックする

WPSに対応した無線LAN内蔵パソコンの場合
WPSで設定できます。（※）STEP2にある（WPSに対応した無線LAN内蔵パソコンの場合）を参照してください。
※ 本機器をWPA3がサポートされているモードに設定した場合は、WPA3で設定できません。その場合は、手順④の画面にて、STEP4で変更した暗号化キーを入力してください。

以上でWi-Fi接続の設定は終了です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本機器を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を「[ユーザーズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

警告

注意：人が死亡する、または重傷^(※ 1)を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：人が軽傷^(※ 2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害^(※ 3)のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

お願い：本機器の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

（※ 1）重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中重度で後遺症が残るものおよび治療入院や長期の通院を要するものを示しています。

（※ 2）軽傷：治療入院や長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを示しています。

（※ 3）物的損害：家屋、家財および家具、ペットなどにかかわる拡大損害を示しています。

図記号の説明	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
<div> <p>■ 警告・注意を促す記号</p>  <p>発生注意 感電注意 高温注意</p> </div>	<div> <p>■ 行為を禁止する記号</p>  <p>一般禁止 分解禁止 めくれ禁止</p>  <p>水ぬれ禁止 風扇等での使用禁止 火気禁止</p> </div>	<div> <p>■ 行為を指示する記号</p>  <p>一般指示 電源プラグをコンセントから抜け</p> </div>
<div> <p>■ 破損注意</p>  </div>		

警告

電源

- 100V ACの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 電源コードを傷つけたら、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
- ACアダプタは、たこ足配線にしないでください。

- ACアダプタは、必ず本機器に添付のものをお使いください。また、本機器に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。
- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。

- 本機器に添付のACアダプタは日本国内100V AC (50/60Hz)の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、ACアダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態で使用してください。
- ACアダプタをコンセントに差し込んだ状態で、ACアダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まさぐり抜き差ししないでください。特に、回転式の抜き差し型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体およびACアダプタ）

以下の場合、すぐに本機器のACアダプタをコンセントから抜いて、本機器の入手元またはお問い合わせ窓口にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。また、c、d、eのような使用いかたはしないでください。

- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき
- 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき
- 本機器を水や海水につけたり、ぬらしたとき

- 本機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落したりしたとき
- 本機器を落したり破損したとき

禁止事項（本体および添付品）

- 本機器は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。
- 本機器を分解・改造しないでください。

- ぬれた手で本機器を操作したり、接続したりしないでください。

- 本機器の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本機器の電源を切ってください。
- 本機器は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本機器のそばに花びら、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、また小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

■Atermは、日本電気株式会社登録商標です。 ■らくらく起動スタート、らくらくQRスタートは、NECプラットフォームズ株式会社登録商標です。 ■Wi-Fi、Wi-Fi Alliance おまびWP3は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。 ■Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。 ■Intel Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。 ■Androidは、Google LLCの商標または登録商標です。 ■Internet Explorerは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。 ■その他、各会社、各製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。 © NEC Platforms, Ltd. 2020。NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製、改変、および複製物を配布することはできません。

注意

設置場所（本体および添付品）

本機器を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用して、本機器の周囲に十分なスペースを確保してください。

また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本機器は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90%の結露しない環境でご使用ください。
 - 本機器を重ね置きしないでください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒーターなどの発熱器のそばなど、湿度の高いところに置かないでください。
 - 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機 のそばなど）に置かないでください。
 - 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるとような場所、ほごりの多い場所に置かないでください。
 - ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定場所に置かないでください。また、本機器の上に重いものを置かないでください。
 - 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
 - ＜悪い例＞
 - ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける
 - 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。
 - ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

電源

- 本機器の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタ本体を持って抜いてください。
- 本機器の電源プラグとコンセントの間のほごりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本機器のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本機器のACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 本機器の使用や使用直後にACアダプタが高温になる場合があります。

禁止事項（本体および添付品）

- 本機器に乘らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器を接続したりしないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

- 壁掛けで使用している場合、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本機器を手で支えながら行ってください。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えたと接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所（本体および添付品）

- 本機器をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 本機器と子機の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを1m 以上離してお使いください。

禁止事項（本体および添付品）

- 本機器の電源を入れたあと、すぐに電源を切らないでください。60秒以上の間隔をあけてから電源を切ってください。すぐに電源を切ると故障の原因となることがあります。
- 本機器の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入ると電源が入らなくなることがあります。

本機器で使用しているソフトウェアについて

本機器には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされたソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを手入力、GPL または LGPL にしたがひ、複製、頒布および改変することができます。詳細は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などに準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関する保守サービスの提供をサポートとは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への業務提供等を含む）に際しては、外匯為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令をご確認の上、必要な手続きをお取ください。ご不明な場合、または輸出許可申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、本製品の入手元またはお問い合わせ窓口にご相談ください。

廃棄方法について

この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複製することは禁止されています。
(2) 本書の内容については、無断で予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の誤りにては万全を期して作成いたしましたが、万一で不備な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたらご連絡ください。本機器の故障、誤動作・天災・不具合あるいは停電など他の外部要因によって通信などの機会を失いために生じた損害などの純粋な損害損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
(4) セキュリティ対策を怠ること、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
(5) 6ヶ月以上の経緯も不適切でない不測の事態（例えば停電や雷害など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ず守ってください。
(6) Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。■Intel Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。■Androidは、Google LLCの商標または登録商標です。■Internet Explorerは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。■その他、各会社、各製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。© NEC Platforms, Ltd. 2020。NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製、改変、および複製物を配布することはできません。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本機器間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - 不正に侵入される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピュータウイルス等を用いてデータやシステムを破壊する（破壊）
- 等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。セキュリティ対策を怠ること、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。なお、無線LANをより安全にお使いいただくために、本機器の暗号化キー、PINコードは初期値から変更していただく。変更は、[クイック設定Web](#)で行います。暗号化キーは「[Wi-Fi詳細設定](#)」、PINコードは「[WPS設定](#)」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

●自動バージョンアップ機能は、本機器のソフトウェアが更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効にすることができます。
なお、本機能は、「クイック設定Web」から下記のように設定することができます。（←右記「[クイック設定Web](#)の起動方法」）
【更新があったらすべてバージョンアップする場合（工場出荷時の設定）】
「メンテナンス」->バージョンアップ機能：ON
【時刻指定バージョンアップ機能】：ON
【重要更新のみバージョンアップする場合】
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
【時刻指定バージョンアップ機能】：OFF

※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定Webの「詳細設定」->「その他の設定」画面（ブリッジモードまたは中継機/子機として使用する場合は「基本設定」->「基本設定」画面）、時刻指定バージョンアップ機能はクイック設定Webの「メンテナンス」->「ファームウェア更新」画面にて設定できます。

※時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加/変更を行います。意図しない機能追加/変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップする）に変更することもできます。

※自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
※「重要更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本機器の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要更新がある場合は、事前に製品サポートページ上の「製品に関する重要お知らせ」にてご案内します。

●自動バージョンアップ機能が実施されると、本機器が再起動するが、そのまま接続していた通信が中断されます。また、従来制課金契約の場合、ソフトウェアアップロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

●本機能は、本機能が発動するために必要な最小限の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ送信します。これらの情報は、本機能の実現と本機器や本機能の改善、向上のために利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合には、また、当社の取り扱い手続きと同様に適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただいたあと、本機能が利用可能となります。

●本機能は、工場出荷時に有効（ON）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、クイック設定Webで機能を無効（OFF）にしてください。（メンテナンスバージョンアップ機能）を「OFF」にする。
【時刻指定バージョンアップ機能】も自動的に「OFF」となります。ただし、本機能を無効にした場合、重要ソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。必ず、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。

●保守サービス機能は、本機器に対してインターネットを介して保守を行う機能です。保守サービスの際には、必要で最小限度の機器情報・ネットワーク情報が当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定Webで表示される情報が当社に開示されます。これらの情報は、保守サービスのためだけに利用し、これ以外の目的では使用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合には、また、当社の取り扱い手続きと同様に適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただいたあと、本機能が利用可能となります。
※保守サービスの内容などは予告なく変更させていただく場合があります。

電波に関する注意事項

- 本機器は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz帯）、IEEE802.11a通信利用時は、5GHz帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.3GHz帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁止されています。
- 5GHz帯で使用するチャネルは36,40,44,48ch（W52）と52,56,60,64ch（W53）と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来のIEEE802.11aで使用する34,38,42,46ch（J52）の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac	・W52（5.2GHz帯/36,40,44,48ch）	・W53（5.3GHz帯/52,56,60,64ch）
IEEE802.11b/g/n	・W54（5.0GHz帯/40,44,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）が利用できます。	・W55（5.0GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）
IEEE802.11a	5GHz帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。	
	・W52（5.2GHz帯/36,40,44,48ch）	・W53（5.3GHz帯/52,56,60,64ch）
	・W54（5.0GHz帯/40,44,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）	・W56（5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）
	●W53（52,56,60,64ch）またはW56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。	
	・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信は行えません。	
	・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。	
	●IEEE802.11n（2.4GHz帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b通信利用時は、2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。	
	●本機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。	
	(2) 万一、本機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機器の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。	
	(3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、本機器の入手元またはお問い合わせ窓口にご連絡ください。	

●Bluetooth機器との通信はできません。
●IEEE802.11n（2.4GHz帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b通信利用時は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式および、OFDM方式を採用しており、干渉距離は40mです。

2.4 DS/OF 4	2.4	・2.4GHz帯を使用する無線設備を示すDS/OF・DS-SS方式およびOFDM方式を示す
IEEE802.11b/g/n	■ ■ ■ ■ ■	●想定される干渉距離が40m以下であることを示す <ul style="list-style-type: none">■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

●本機器を2.4GHz帯で使用し、チャンネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会のARIB規格により下記内容が推奨されています。〔この機器を2.4GHz帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定としてCH1,CH6,CH11のみが適切にすることを推奨します。〕
ただし、無線LAN以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の1,6,11ch以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャンネルの設定方法は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。）
●デュアルチャネル、クワッドチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
■デュアルチャネル、クワッドチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に把握ください。
■万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合は、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されるとき、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI－B

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。
暗号化キー、管理者パスワードは初期値に戻り、お客様にて設定した内容は消去されます。
初期化後は、本機器をより安全にお使いいただくために、暗号化キー、管理者パスワードは初期値から変更してください。（←STEP4）
なお、初期化する前に、クイック設定Web（ホーム画面）の「詳細な項目を表示」-「メンテナンス」->「設定項目の保存/復元」に現在設定した内容を保存すれば、初期化後に再度画面にて復元することができます。（ただし、管理者パスワードは復元できません。）

- 本機器のPOWERランプが緑点灯していることを確認する
 - ※電源を入れた直した場合や電源を入れた直後の場合は、約 60秒お待ちください。
- RESET スイッチを押し続けたもの（電気が通さない材質のもの）、つまようじの先など）を押し続け、POWERランプが赤点灯したはじめてから5分※POWERランプが赤点灯をはじめめる約 6 ～ 10 秒かかります。
- 本機器からACアダプタのプラグを取り外し、約10秒待つってから差し込む
- 約 80 秒待つ
 - ※例題）（a）のランプが赤に緑点滅したあと、POWERランプが緑点灯したら初期化が完了します。本機器が起動するまでしばらくお待ちください。

本機器の設定を変更する場合は

本機器の設定を変更する場合は、設定画面「クイック設定Web」で設定します。

クイック設定Webの起動方法

Web ブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。

- http://aterm.me/
- http://aterm.me/ 部分を、本機器のIPアドレス（工場出荷状態は192.168.10.1）にして起動することもできます。
- ※クイック画面が表示された場合は、「ユーザー名」には「admin」と半角小文字を入力し、「パスワード」には管理者パスワードを入力し、[ログイン]をクリックしてください。管理者パスワードは、本機器のペナルティに記載された英数字8桁のパスワード（Web PW）が初期値となります。この管理者パスワードは、初期値から変更してください。（←STEP4）
なお、管理者パスワードを変更した場合は、クイック設定Web 起動時には変更したパスワードを入力してください。忘れなければ、本機器を初期化すると（←左記「初期化方法」）、本機器のペナルティに記載された英数字8桁のパスワード（Web PW）に戻ります。

- ※クイック設定Webで設定した内容は、「設定」をクリックしたあと本機器を再起動することで登録されます。
- ※ブリッジモード（ルータ機能停止）で使用する場合はまた中継機/子機として使用する場合は、下記の手順で起動してください。
詳細な起動方法は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

- 本機器の電源をいったん切る
- 本機器のLANポートとパソコンなどの端末をLANケーブルで接続する
- 本機器のらくらくスタートボタンを押しながら、CONVERTERランプが緑点滅したら→本機器の強制DHCPサーバ機能が起動します。起動中はCONVERTERランプが緑点滅します。
- Web ブラウザのアドレス欄に下記アドレスを入力して起動する
 - ブリッジモードで使用する場合　：http://192.168.1.210/
 - 中継機/子機として使用する場合　：http://192.168.1.245/

強制DHCPサーバ機能を停止するときは、本機器を再起動してください。（「設定変更受付完了」画面で「今すぐ再起動する」をクリックするか、ホーム画面の「詳細な項目を表示」->「メンテナンス」->「再起動」画面で「再起動」をクリックしてください。）

※手続②で本機器のLANポートに接続したLANケーブルは、再起動が完了したあと、取り外すことができます。

- 本機器と同一のネットワークにWi-Fi接続したスマートフォン/タブレット端末をご利用の場合
 - 「Aterm スマートリモコン」アプリ（無料）でも起動することができます。『[ユーザーズマニュアル](#)』
- 本機器と同一のネットワークにWi-Fi接続または有線接続したパソコン（Windows）をご利用の場合
 - 「Aterm 検索ツール」でも起動することができます。『[ユーザーズマニュアル](#)』

ブリッジモードで使用する場合は

別途ご利用のルータまたはルータ機能内蔵のプロードバンドモデムなどに本機器を接続する場合は、ブリッジモード（ルータ機能停止）を使用します。ブリッジモードに設定するには、下記の手順で設定してください。

- 本機器の電源を切った状態でRT/BR/CNVモード切替スイッチをBR側に切り替え、本機器の電源を入れる
 - ※しばらくしてACTIVEランプが点灯すれば、ブリッジモードに設定完了です。
- ルータ機能内蔵のプロードバンドモデムなどの接続には、本機器のWANポートをご使用ください。
- STEP4** を参照して、本機器の暗号化キーと管理者パスワードを初期値から変更する

中継機／子機として使用する場合は

本機器は、親機と子機の間で電波を中継（リレー）する中継機として使用したり、LANポートにテレビ、パソコン、ゲーム機などの端末を接続して子機（イーサネットコンピュータ）として使用したりすることができます。本機器を中継機/子機として使用するには、下記の手順で設定してください。
詳細な設定方法は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

※下記手順の親機は、Aterm システムを例にしています。

- 本機器の管理者パスワードを初期値から変更する
 - ※初期値からの変更は、ルータモード（RT/BR/CNVモード）切替スイッチがRT側に行います。
 - ※STEP1の①と②-STEP2-STEP4の①と②を実施してください。

- 本機器の電源を切った状態でRT/BR/CNVモード切替スイッチをCNV側に切り替え、本機器の電源を入れる
 - ※しばらくして本機器のPOWERランプが緑点灯、ACTIVEランプが緑点灯または極点灯すれば、設定完了です。（緑点灯している場合は子機としてのみ設定でき、中継機能はOFFに設定されています。）

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載します。

- 解決しない場合は、本機器を初期化（←左記「初期化方法」）、はじめから設定し直してお試しください。
- CATV（ケーブルテレビ）回線を使用しているが、ACTIVEランプが点灯せず、インターネットに接続できない
 - ご利用のモデムによっては、過去に接続したネットワーク機器のMACアドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本機器は、モデムの電源で電源を切り、しばらくしてから電源を入ります。詳しくは「ご利用のケーブルテレビ会社へご確認ください。」
- ACTIVEランプが緑色に点灯している
 - 故障や通信エラーではありません。ブリッジモード（ルータ機能停止）で動作している状態です。（本機器を中継機/子機として使用する場合は、親機と5GHz帯のWi-Fiで接続している状態です。）
- クイック設定Webが開かない
 - ご使用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
 - Web ブラウザの設定でJavaScriptを無効に設定している場合は、有効に設定してください。
 - IPアドレスの取得がうまくいっていないことが原因です。パソコンのIPアドレスを自動取得に設定してお試しください。
- 側面（表）のすべてのランプが赤点灯している
 - 本機器の故障を検知したため、復旧の準備状態です。
 - このあと、POWERランプが極点灯、その他のランプが赤点灯になった場合は、自動で復旧してしまいます。約 120 秒お待ちください。POWERランプが緑点灯になったら、復旧は完了です。
 - 中継機/子機として使用する場合（RT/BR/CNVモード切替スイッチがCNV側の場合）は、下記の手順で復旧してください。
 - ＜中継機/子機として使用する場合の復旧方法＞
 - 本機器の電源をいったん切る
 - RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側に切り替える
 - 本機器のWANポートと親機のLANポートを接続しているLANケーブルを接続する
 - 本機器の電源を入れる
 - POWERランプが極点灯、その他のランプが赤点灯になったら、約 120 秒待つ
 - 本機器のPOWERランプが緑点灯になることを確認する
 - 本機器の電源を切る
 - 本機器のWANポートと親機のLANポートを接続しているLANケーブルを接続する
 - RT/BR/CNVモード切替スイッチをCNV側に切り替える
 - 本機器の電源を入れる

本機器の取扱説明書について

本機器の取扱説明書は下記のように構成されています。

つなぎかたガイド（本書）

基本的な接続（クーン）を例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。

ユーザーズマニュアル（Web サイトに掲載）

本機器のさまざまな機能を利用していただけることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。また、本機器の基本事項についても記載しています。下記、製品サポートページから参照してください。

お問い合わせ

■製品サポートページ「Aterm Support Information」